

令和8年7月2日会議概要

第1 日時

令和8年7月2日（木）午前9時15分から午前11時20分までの間

第2 出席者

池坊委員長、森委員、森田委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部長等

《書記 総務課公安委員会補佐室長、同室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 令和8年上半期中の公安委員会に対する苦情申出状況について

総務部長から、令和8年上半期中の公安委員会に対する苦情申出状況について報告があった。

令和8年上半期に受理した件数は、過去最高の受理件数であった去年同期比15件増の37件で、これは令和5年等の1年間の受理件数とほぼ同数であること、処理件数は去年同期比5件増の23件であること、引き続き調査の徹底を図ること、不適切な職務執行等があった場合の再発防止措置や業務改善を図り、京都府警察の自浄機能を強化していくことについて説明があった。

委員から「適切に対応すれば苦情も減少すると思うので、引き続き取り組んでいただきたい。」「担当者のモチベーションを保てるようなフォローも重要である。」旨、発言があった。

(2) シミズ病院グループとの自転車ヘルメット着用促進に係る連携について

交通部長から、シミズ病院グループとの自転車ヘルメット着用促進に係る連携について報告があった。

京都府内における過去5年間の自転車乗車中の交通事故死者の死亡原因の7割が頭部損傷との調査結果である中、昨年警察庁が実施した自転車ヘルメット着用率調査で京都府は全国平均の約半分の約12%であったことから、脳神経外科等の医療を専門とするシミズ病院グループと連携して自転車ヘルメット着用促進を図る旨、説明があった。

また、連携内容として、同病院脳神経外科医師による京都府内の高校等での「医学的見地に基づくヘルメット着用効果について」の講演、ヘルメット着用の効果と重要性に係る動画作成、同病院グループの各種広報媒体を活用した広報啓発活動を行う旨、説明があった。

委員から、「子どもにヘルメットを被らせるが、親が被っていないことも多く、啓発動画等を積極的に活用していただきたい。」「体感的には、ヘルメットの着用は増えているが、全国と比較するとまだまだ低いので対策が必要。」「ヘルメット着用促進に向け、様々な工夫をしながら地道に取り組んでいただきたい。」旨、発言があった。

(3) サイバー対策本部における民間企業からの任期付き採用について

サイバー対策本部長から、サイバー対策本部における民間企業からの任期付き採用について報告があった。

民間企業から専門的知識・技能を有する優秀な人材を幹部警察官として採用することにより、民間の最新の知見を活かし、サイバー対策本部におけるサイバー事案等の捜査、官民連携による被害防止対策、人材育成等に係る業務の一層の高度化を図る旨、説明があった。

委員から、「サイバー分野は、今後ますます重要となるため、採用した専門官には保有スキルと能力を最大限に活かし、様々な業務でレベルアップを図っていただきたい。」旨、発言があった。

(4) 監察案件（1件）

監察官から、監察案件1件について報告があった。

2 聴聞等

運転免許関係行政処分について

運転免許試験課交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、14件の行政処分を審議した。

3 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の却下を決定した。

(2) 公安委員会宛て苦情について（受理1件、意見要望1件、処理2件）

総務課公安委員会補佐室長及び同室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情申出に関して、受理1件、意見要望1件の報告があり、処理方針を決定した。また、公安委員会宛ての苦情申出2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

4 個別報告

(1) 京都犯罪被害者支援センターについて

警務課犯罪被害者支援室長から、平成10年に設立され、平成15年に京都府公安委員会より「犯罪被害者等早期援助団体」に指定された京都犯罪被害者支援センターの主な支援内容や当府警察との連携状況について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

総務課長及び総務課公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。